

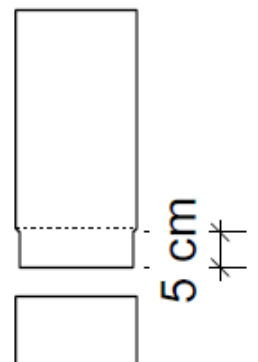


煙突の設置注意事項

ユトランドストーブの煙突の組立は簡単で、安定した取付けが可能です。初めての取付けでも、二人で半日あれば十分できます。

パイプの接続について、

単管（シングルパイプ）と単管の接続は重なる部分の長さが5cmで、差し込むだけで安定した連結が出来ます。単管の接続を2メートル以上に長くする時は、安定性を高めるために単管と単管のつなぎ部分をビスでとめてください。



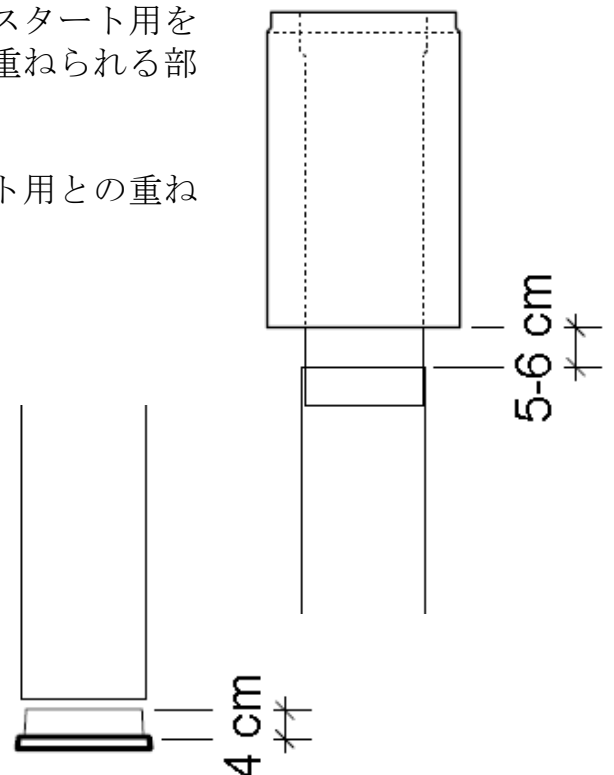
ストーブに一番近い断熱管として、断熱パイプスタート用を使います。この断熱管スタート用には、単管と重ねられる部分が10cmあります。

単管が熱で伸びることを考えて、断熱管スタート用との重ねる部分を10cmにしないことは必要です。

ユトランドストーブの上に単管を取付けた場合、単管を4cm持ち上げるとストーブから外せます。ストーブから単管を持ち上げて外すことが出来ますので、煙突掃除などを行うことが出来ます。

この様なことを考えて、断熱管スタート用と単管の重なりを5cmぐらいにしておくことが良いと思います。

単管との重なりを5cmにするために、断熱管スタート用の取り付け位置を決めましょう。





断熱管と断熱管の接続、

断熱パイプと断熱パイプをたてにつなぐ場合、

下の写真の左が上のパイプの下側で、右が下のパイプの上部です。左の内管が右の内管の中に入り、左の外管は右の外管の外にはまりますので、差し込んで、取り付けバンドで締め付けます。



断熱パイプの下側
(取り付けバンド付き)



断熱パイプの上側

断熱パイプスタート用の場合、右の写真のように単管と接続されている部分が下側（ストーブ側）でして、上は他の断熱パイプの上と同じ作りです。

断熱パイプスタート用には取り付けバンドが添付されていませんが、通常の煙突設計では必要ありません。



断熱パイプスタート用の下側

屋根・壁を通す時、

断熱管が天井・屋根・壁などを通す時ですが、デンマークでは躯体と断熱2層管との間隔は5cm程度です。

地方自治体が条例で間隔を決めている場合は、その指示に従って下さい。

不燃材やメガネ石などの充填は必要ありません。

家の断熱を良くするためには、空間に燃焼しない断熱材を入れることは可能です。



断熱管用取付けバンド、



断熱管用の取付けバンドは「断熱管スタート用（部品番号220, 250, 300）」以外にはすべての断熱管に付いていますし、レインキャップ（部品番号505）にも付属しています。

この取付けバンドのボルトを調整して、手で絞めて断熱管と断熱管を接続出来ます。

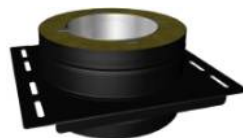
煙突の据付けを完了させる時点で、この取付けバンドのネジを六角棒レンチで更に強く閉めますと、取付けバンドを手で外せないぐらいいっかりと固定することが出来ますので、安定した設定になります。

更に、右下のようにステンレスの針金ではずれないようにすると完璧です。



これで、長期間安定している煙突の据付けが出来ます。

他の断熱管を取り付ける場合も同じように取付けバンドで連結出来ます。



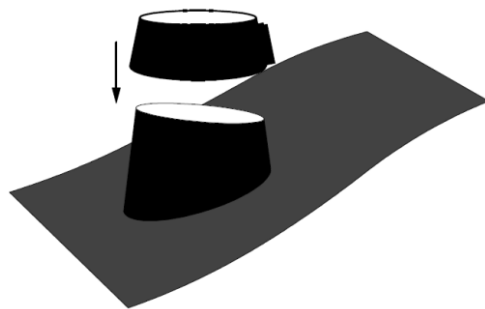


屋根での取付け、

屋根に煙突を通す時に、煙突を屋根の中で設定するための「煙突取付け金物」、屋根の防水のための「屋根防水フラッシュ」、煙突を屋根に固定するための「屋根上取付け支柱」があります。いずれも屋根の角度に合わせて取り付けられます。



煙突取付け金物、
(部品番号 910)



屋根防水フラッシング、
(405, 410, 420)



屋根上取付け支柱
(920)

屋根の上の防水

断熱管を屋根の穴に通した後、上記の屋根防水フラッシングを煙突にかぶせて屋根に置きます。

このフラッシングの下に付いているルーフィング（黒いゴム製）が防水用でして、ゴムの下に接着剤が着いています。設置位置が決まりましたら、接着剤のカバーを外して、屋根の上に貼ってある防水紙の上に貼りつけます。

これで防水完了ですので、屋根を張ることが出来ます。

それでも、防水に心配がありましたら、四角いルーフィングの周囲をコーキングでシールすることも出来ます。

屋根防水フラッシングには 5-17°（1-3寸勾配）用と、18-31°（3.5-6寸勾配）、32-45°（6.5-10寸勾配）用がありますので、屋根の勾配に合わせてお求め頂けます。

フラッシングには上にかぶせるカバーが付いていますので、このカバーをかぶせる時に、煙突との間にシールをいれて防水処理をしてください。

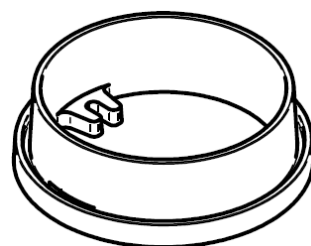


ストーブに煙突の取付け、

ユトランドストーブでは、ストーブの上と後ろのどちらからでも煙突をスタートさせることが出来ます。ストーブには単管煙突を差し込むプラグが付いています。

ストーブの上に付ける場合、

プラグをボルトで上に取り付けて、単管を上にはし込みますし、そのあと煙突を上には接続することが出来ます。煙筒を上には接続して伸ばす場合は簡単です。

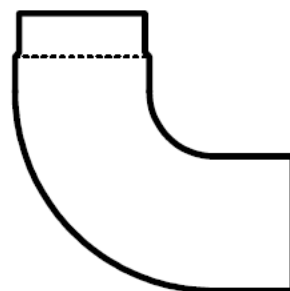


プラグ

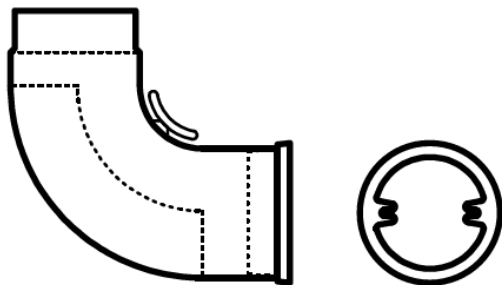
ストーブの後ろに取り付ける場合、

プラグをストーブの後ろに取り付けて、単管をつなぎます。

煙突を上に向ける場合は、シングルパイプ90°を使います。このシングルパイプ90°の上に煙突をたくさん付ける場合、単管がストーブから外れてはいけませんので、安定させるために作った部品「シングルパイプ90°ストーブ後ろ取付け用(部品番号011)」があります。



シングルパイプ90°
部品番号006



部品番号011

90°の単管をストーブの後ろに取り付けられるように、プラグが単管に取り付けてあり、これをボルトでストーブの後ろに取り付けます。

この単管は「清掃可能タイプ」でして、ネジを廻すと、コーナーがはずれて、煙突の掃除が出来ます。(左の絵の左下の部分が外れます。)

ストーブの後ろにこのシングルパイプ90°を取り付けると、安定した煙突の延長が出来ます。